

菊池

YOKO KIKUCHI

洋子

菊池洋子の透明度が高く研ぎ澄まされた美音は
絶妙な色彩変化と生命力溢れる芳醇なフレー징ングで
バッハの格調高いポリフォニーの美を表出する

GOLDBERG

菊池洋子 ピアノ・リサイタル
J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲

2024

7/24 **水** 19:00 開演 [18:30 開場] **サントリーホール ブルーローズ**

2024年 4月14日(日) 朝10時チケット発売 全席指定 ¥5,000 (税込)

ご予約/お問い合わせ **チケットスペース 03-3234-9999** [Q チケットスペースオンライン](#) [検索](#)

プレイガイド ◆サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 suntory.jp/HALL/

◆チケットぴあ <https://pia.jp/> ◆イープラス <https://eplus.jp/> ◆ローソンチケット <https://l-tike.com/>

※公演時間: 約80分(途中休憩はございません)。※開演しますと途中入場できませんのでご注意ください。

※未就学児のご入場はお断りいたします。※車椅子でご来場されるお客様はご購入前にチケットスペースまで必ずお問い合わせください。

主催: ヒラサ・オフィス 協力: エイベックス・クラシックス・インターナショナル



© Marco Borggreve

GOLDBERG

菊池洋子 (ピアノ) YOKO KIKUCHI, PIANO

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝、一躍注目を集めた。その後、ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活発に活動を展開し、いまや実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。

前橋市生まれ。故田中希代子、故林秀光の各氏に師事。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学、フランコ・スカラ、フォルテピアノをステファノ・フィウツィに師事。国内主要オーケストラとの共演をはじめ、ザルツブルク・モーツァルトウム管、ハノーファー北ドイツ放送フィル、ベルリン響等と共演。

ゴルトベルク変奏曲を演奏会で弾き始めて4年目になります。

2022年からは毎年J.S.バッハの命日に近い日程で数回の演奏会を行い、今年もその時が近くなり気持ちが高まってきました。

〈音楽の父〉と言われるバッハは全ての作曲家が学び、そして出発点でありバッハの音楽があったからこそモーツァルトもベートーヴェンもその後の多くの作曲家の音楽も存在します。

ゴルトベルク変奏曲は音楽的にも技巧的にも鍵盤楽器奏者にとってエベレストに登るようなチャレンジングな作品のひとつです。

シンプルで美しい32小節のアリアに始まり、30の変奏曲を経て最後に再びアリアで締めくくる32曲、まるで人間の一生を表しているかのような曲だと感じています。

最後のアリアを弾く時には新たな人生が始まるような希望の光を感じます。

弾いていると日々の日記を綴っているような気持ちになったり、これまで思い出すこともなかった昔の記憶が蘇ってきます。

お聴きくださる皆様と毎年ゴルトベルク変奏曲の山登りに挑戦し一歩ずつ前に進み、登りながら見えてくる景色の変化と共に、どのような世界が目の前に広がり待っているのか今年も楽しみでなりません。

菊池洋子

最近では、ウィーン・フィルコンサートマスター、ライナー・ホーネックとのツアーで話題を呼んだほか、バレエとのコラボレーション公演にも出演し、世界的バレエダンサー ディアナ・ヴィシニョワや吉田都、上野水香ほかと共演。CD録音も活発に行い、「J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲」、「子守歌ファンタジー」、「ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番、4番」を次々とリリースした。

第1回上毛芸術文化賞(音楽部門)受賞。2007年第17回出光音楽賞受賞。2023年3月よりウィーン国立音楽大学にて後進の指導に当たる。

菊池洋子オフィシャルホームページ yokokikuchipf.com

絶賛発売中

J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 | 菊池洋子

J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988

菊池洋子 (ピアノ)

[録音] 2022年6月1日～3日 群馬、前橋市民文化会館

AVCL-84146 定価：¥3,300 (税抜¥3,000)

